

ガバナー月信 Vol.13

Rotary
第2570地区



GML

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

入って良かったロータリー

特別号



CONTENTS

- P 2 五十幡ガバナーメッセージ
- P 4 ガバナー補佐 メッセージ 第1～3グループ
- P 5 ガバナー補佐 メッセージ 第4～5グループ
- P 6～9 1年を振り返って委員長メッセージ
- P10～11 国際大会報告／相原茂吉 国際大会推進委員会委員長
- P12 40周年 所沢西RC／30周年 東松山むさしRC
- P13 50周年 新座RC／ロータリー財団 奨学候補生第5回オリエンテーション開催
- P14～15 2024-25年度 地区会計収支報告書
- P16 編集後記



GML 特別号

国際ロータリー第2570地区会員の皆様には
2024-25年度、地区の活動へのご理解と
ご協力、誠に有難うございました。
皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

2024-25年度国際ロータリー第2570地区 ガバナー
五十幡和彦 (行田さくらRC)

Isohata Kazuhiko



GOVERNOR'S MESSAGE

「ロータリーのマジック」と「入って良かったロータリー」

2024-25年度ステファニー・A. アーチックRI会長のテーマは「THE MAGIC OF ROTARY/ロータリーのマジック」でした。これまでロータリーはポリオ根絶を始め世界平和に向け世界中で様々な奉仕活動を行ってきました。その成果はまさにロータリーのマジック、ロータリーが引き起こしてきた奇跡です。ステファニー氏はこのマジックを皆様とともに推し進めましようと言われました。

これを受けて国際ロータリー第2570地区の活動方針は「入って良かったロータリー」でした。ロータリーの活動を通じて自分を磨き、事業も磨き、世界平和に貢献することができます。そして私たちは「ロータリーに入って良かった」ことやロータリーで出会った感動と魅力—Rotary Moment—を、誰もが周りの人に語れるようにしなければなりません。ロータリーに入って良かったという思いや体験が退会防止に、そして新会員の勧誘につながります。

クラブの皆様、会長の皆様には 様々な取り組みにご理解とご協力をいただきました

2024-25年度はクラスの皆様、会長の皆様に、以下のような様々な願いをさせていただきました。

- (1) 公式訪問クラス協議会での「入って良かったロータリー」ディスカッション
- (2) ロータリーの奉仕活動のフランド化
【クラス】 クラスの奉仕プロジェクトのフランド化クラスでポリオ根絶に関するイベントを開催する
【国際ロータリー第2570地区】 ポリオ根絶と第2570地区ポリオデー
- (3) 各クラス2名以上の会員数純増とDEIの推進
- (4) クラス会長の皆様のラーニングセンターの「クラス会長の基本」の修了証取得
- (5) ロータリークラス・セントラルへの3年間の目標と計画(3-Year Rolling Targets)入力
- (6) 年度計画書へのロータリー理念の年度計画書への掲載
- (7) 標準クラス定款、細則に基づくクラス定款、細則の最新版(2022年版)へ改訂
- (8) CLPに基づく委員会設置の推奨
- (9) クラスの戦略計画を検討する委員会設置

様々なお願いに、ご理解とご協力をいただきましたこと、ならびに「公式訪問」「IM」「周年式典」におきましては会員皆様に多大なる歓迎を受けましたこと、心より感謝と御礼を申し上げます。皆様との出会いがガバナーとしてかけがえのない感激の瞬間でした。

私のロータリー・モメント

振り返るとガバナーとして私のロータリー・モメントは地区内各クラスの皆様にポリオ根絶活動をお願いし、一連のポリオ根絶年間工程を実施できたことです。

(1)始めに3大セミナー(地区チーム研修セミナー、PETS、地区研修・協議会)において

①各クラスにおけるポリオ根絶活動の実施

②地区ポリオデーへの参加

③地区大会での各クラスのポリオ根絶活動の発表と、尾身茂先生による記念講演会への参加をお願いし、

(2)これを受けて地区内47クラスの皆様が、それぞれ何らかのポリオ根絶活動を実施していただき

(3)11月2・3・4日のRI第2570地区ポリオデーでは日本最大のウォーキングイベント/日本スリーデーマーチ(埼玉県東松山市を中心とした比企丘陵)において

①3日間募金ブースを展開

②ウォーキングの出発前に、参加者230人がステージに登壇し、ロータリーのポリオ根絶の取組みをアピール

③END POLIO NOWのTシャツと、END POLIO NOWの登り旗を掲げ10キロコースを中心に市内をウォーキングしながら、ポリオ根絶をアピールしました。

(4)11月20日は埼玉新聞の一面を使い「地域、世界を変える行動人になろう」として

①11月2-4日の地区ポリオデーの取組みと

②国際ロータリー第2570地区の奉仕プロジェクトを紹介し

③ロータリーに入って一緒に行動しましょう、とアピール。

(5)11月23・24日の地区大会では、①地区内各クラス紹介を、各クラスのポリオ根絶活動写真をビデオにまとめて紹介、②地区ポリオデー/日本スリーデーマーチでのEND POLIO NOWウォーキングをビデオで紹介、③それを受けた最高のテンションで尾身茂先生より「ロータリーと共に歩んできたポリオ根絶」の記念講演を行っていただきました。

こうした一連のポリオ根絶活動にご理解とご協力をいただいた皆様が、私にとってのロータリー・モメントです。有難うございました。

結びに坂口ガバナー、原島ガバナーエレクト、五十嵐ガバナーノミニーへのご協力と国際ロータリー第2570地区の益々のご発展をご祈念し、御礼の言葉とさせていただきます。





第1グループ ガバナー補佐

坂口 孝 (川越)

Sakaguchi Takashi

ガバナー補佐を終えて

早いもので、第1グループガバナー補佐を拝命してから1年が経過しました。2024-25年度、RI会長テーマは「Magic of Rotary」そして地区テーマは「入って良かったロータリー」でした。

この2つのテーマを念頭においてグループ内11クラスの会長・幹事さん、並びに会員各位のご理解・ご協力を頂きながら活動してまいりました。自分なりに精一杯努めてきたつもりではございますが、行き届かないところはロータリーの友情に免じてご容赦頂きたいと思います。

6月30日をもって私のガバナー補佐の任期は満了しましたが、ロータリーの活動は継続します。どうか、これからも自クラスのために会員の皆様が活動されますよう、心からお願い申し上げます。



第2グループ ガバナー補佐

島田敏郎 (富士見)

Shimada Toshiro

ロータリーに入って良かったと思えた1年でした

今年度第2グループでは、五十幡ガバナーの「入って良かったロータリー」を実現するため、「ロータリーの基本に返ろう」ということをテーマに掲げ、特に会員同士の交流を重点におき一年間を過ごしてまいりました。

会長幹事の皆様には、会長幹事会として準備会を含めて9回の会合を行なっていただき、私自身もクラスの垣根を超えた交流の機会として非常に有意義な時間を過ごすことができました。

また、今年度のIMは、「ロータリーのバトンを繋ごう—青少年奉仕と世界平和—」をテーマに掲げ、地区の青少年プログラム委員会の皆様や、第2グループの皆様にご協力をいただき無事に開催することができました。このIMを通じて、青少年交換プログラムが単に学生個人の教育を目的とするのではなく、学生が国境を超えた友情を育むことにより将来の世界平和を目指すものであるということを、グループの皆様にお伝えできたかと思います。

最後になりましたが、この一年、ガバナー補佐として至らない点も多くあったかと思いますが、五十幡ガバナーや同期のガバナー補佐をはじめ、皆様のご協力のおかげで、私自身も「ロータリーに入って良かった」と言える一年間を過ごすことができました。一年間、ありがとうございました。



第3グループ ガバナー補佐

倉片順司 (所沢)

Kurakata Junji

1年を振り返って

この一年間、第3グループガバナー補佐としてクラスと地区をつなぐ役割を担い、多くの学びと気づきを得ました。特に昨年12月末に20名規模のクラスが解散したことは大きな衝撃で、改めて会員増強と退会防止の重要性を痛感しました。

各クラスの現状を共有しながら、どうすれば会員が増え、魅力あるクラスとして活性化できるかを皆様とともに考え、取り組んでまいりました。

一方で、どのクラスに訪問しても温かく迎えていただき、交流の中で多くの刺激と学びを得られたことに心から感謝しています。

今後は自分だけでなく、所属クラスの会員もグループ内外を問わず積極的にクラスを訪問できるような環境を作り、情報交換を重ねながらお互いに成長し、より良いロータリー活動につなげていきたいと考えています。



第4グループ ガバナー補佐

柴崎 猛 (寄居)

Shibasaki Takeshi

一年を振り返って

今年度RI会長のテーマとして「ロータリーのマジック」を頂き、地区の活動方針としては「入って良かったロータリー」を掲げ、五十幡ガバナーを中心に、2570地区全体が心ひとつに頑張ってきた今年度も、いよいよ幕が閉じました。

ご指名を頂いた当初は余りの重責に戸惑いを禁じ得ない面もありましたが、兼ねてから役職は役得と言われますが、私にとりましてはこの一年は、これまでの20年に互るロータリーライフの中で、最も思い出に残るものであり、文字通り「入って良かったロータリー」を実感させるものでした。

「ロータリーのマジック」を私なりの解釈を拡げて「ロータリーの奇跡」を模索した一年でもありました。その特筆すべき事項としては、やはりIMではなかったかなと思います。その実行委員会の中で、記念講演の講師として、長寿番組で有名な「TBSひるおび」の司会で活躍中の恵俊彰氏をお呼びしたいという期待の中で、寄居クラス会長と氏との恵まれた人間関係も大いに功を奏して、「氏との訾訾(けいがい)に接する」機会が持ち得たという奇跡は、講演内容もさりながら、たった一言の失言で全てを失う世情にあって、十数年という長きにわたりMCを務められた実績の何たるかを、会場の皆さんは理解されたのでは無いかと思っています。それは全ての事に全身全霊で取り組む誠実さと、謙虚で温かい人柄に尽きると実感した次第です。

もう一つは、地区大会における「尾身茂先生の一言」です。五十幡ガバナーの並々ならぬ熱意によって実現した講演会でしたが、その中で「ポリオ撲滅というロータリーの不断の努力は、世界平和の触媒である」という一言は、身に沁みました。

世界平和に貢献したいというロータリーの崇高な理念とは裏腹に、現実には厳しい状況ですが、約一万年以上も平和が続いた日本の縄文文化の再評価と、ガバナンスの基本を権力に置かず、権威に置くという世界最古の国柄を象徴する日本精神を、もっと多くの人達と共有したいと強く願った一年でもありました。

第5グループ ガバナー補佐

田中哲夫 (熊谷)

Tanaka Tetsuo

一年を振り返り

ロータリークラス会員の皆様には1年間本当にお世話になりました。また五十幡ガバナーを始め、諮問委員(パストガバナー)、ガバナー補佐および委員長の皆様には様々な機会にご指導ご鞭撻を賜り誠にありがとうございました。

第5グループにおきましては第1回会長・幹事会において、それぞれのクラスが属する地域の特性を生かしたIM (インターシティミーティング)を実施しようということになり、各地の酒造会社と協力を求めました。

また、マイロータリーへの登録推進、会員増強、CLPの推進、ポリオ撲滅運動等について積極的に働きかけを行いました。

IM開催にあたりましては、会長・幹事を中心に、各ロータリークラス会員・事務局、酒造会社・ホテルの関係者の皆様には企画立案から当日の設営・運営まで大変にお世話になりました。心より御礼申し上げます。

おかげさまで熊谷市、行田市、羽生市、加須市の4つの酒造会社が、それぞれの特色あるお酒を提供し、飲み比べ会を行いながらロータリアン同士の親睦・交流を深めることができました。

こうした新しい試みが、地域の特色ある特産品や文化活動の紹介を通じて更なる地域経済・文化の発展に寄与するのみならず、市町村の枠組みを超えたロータリ同士の交流・親睦につながるものと心から期待しつつ第5グループの報告と御礼に変えさせていただきます。



MESSAGE FROM THE CHAIRPERSON



地区戦略委員会 委員長
水村雅啓（入間）

一年を振り返って

当地区は、会員数、地区内クラスの減少など厳しい状況に直面しております。本年度、当委員会では、地区及びクラスの活性化について様々な議論を行い、以下の3つの

項目について検討し提案いたしました。

1. 地区戦略計画の優先項目の策定…クラス支援、R財団支援、公共イメージ向上、ラーニング、地区のガバナンス強化など5項目にまとめました。
 2. 地区会計規程・慶弔規程の制定…各規程を現況に照らし作成いたしました。
 3. 地区内グループの再編成…リーダーの育成やガバナー補佐の役割の重要性を考慮し、現在の5グループを9グループに再編成し、2026-27年度から実施できるよう準備しています。
- 各項目とも、地区大会、地区研修協議会でご承認いただきました。今後、会員がそれぞれの立場で対応、実行していただき、元気で活力ある地区、クラスをつくるため、一層のご協力をお願いいたします。



会員増強委員会 委員長
原島生慈（秩父）

増強委員会の活動振り返り

五十幡年度の増強委員会は、地区内の会員数20名以下のクラスを対象に訪問活動を実施し、会員が増えない要因についてのヒアリングを行いました。その結果、共通の課題として「会員を増やす意識が希薄であること」と、「意識はあっても具体的な増強策が分からないこと」が挙げられました。

これらのヒアリングに基づき、各クラスとは会員増強の必要性を共有し、「一本釣り」や「地域の若手団体への働きかけ」といった具体的な取り組みについて協議を重ね、実行に移しました。しかし、1年間の活動結果としては、新規入会者数が退会者数を下回り、全体として会員減少を食い止めるには至りませんでした。

これらのヒアリングに基づき、各クラスとは会員増強の必要性を共有し、「一本釣り」や「地域の若手団体への働きかけ」といった具体的な取り組みについて協議を重ね、実行に移しました。しかし、1年間の活動結果としては、新規入会者数が退会者数を下回り、全体として会員減少を食い止めるには至りませんでした。

この結果から、今後の会員増強においては、新規会員獲得だけでなく、既存会員の退会防止にも力を入れる必要性を強く認識しました。

この1年間、増強委員会のメンバーの皆様、そしてご協力いただいた各クラスの皆様には、心より感謝申し上げます。

今回の経験を活かし、次年度以降の会員増強活動に繋げてまいります。



ロータリーの友地区代表委員
田島高久（深谷）

一年を振り返って

実行したこと

メイクアップ	13クラブ
卓話	3クラブ
{ ロータリーの友誌に親しむ:3 }	
{ My Rotaryスマホから登録:2 }	

ロータリーの友誌に親しむアンケート調査

- ・雑誌委員会が毎月「今月号の読みどころ」解説 10クラブ
- ・クラブ会長が毎月「今月号の読みどころ」解説 1クラブ

調査結果からクラブ会長の対応変化

- ・雑誌委員会を作り毎月「今月号の読みどころ」解説 3クラブ
- ・クラブ会長が毎月「今月号の読みどころ」解説 7クラブ

***** 毎月クラブで解説 11クラブ ⇒ 21クラブへ増加 *****

上記情報は全国34ロータリーの友地区代表委員へ情報共有
デジタル版友誌閲覧パスワード半期更新 ⇒ 年度内有効に延長
やり残したこと ⇒ インターアクトクラブへ(又は、から)友誌閲覧
1年間大変ありがとうございました。



公共イメージ委員会 委員長
菊池俊介（川越）

一年を振り返って

2024-2025年度 公共イメージ委員会の委員長として働かせていただきました。

本年度の公共イメージ委員会は五十幡ガバナーの熱い想いの

こもった「ポリオデー」の開催が一番の大きな活動でした。

ロータリー=END POLIOのイメージをほんの少しでもしませんが、一般の方の意識の中に溶け込ませることができたと感じます。

しかし、ロータリーの公共イメージ向上のためにやり残してしまった事が多数ありましたことお詫び申し上げます。

公共イメージに答えを求めることは非常に難しいと感じますが、皆様のクラスでのプロジェクト、ロータリアン一人ひとりの行動や言動がその答えになるのではないかと気づかせていただいた1年となりました。

第2570地区のロータリアンの皆様のご協力誠にありがとうございました。

MESSAGE FROM THE CHAIRPERSON



社会奉仕委員会統括委員長

金井福則（本庄）

社会奉仕の一年振り返り

2024年9月1日、第1回社会奉仕セミナーを開催、講師にティック・タム・チー氏「日本に暮らす在日ベトナム人の駆け込み寺住職」を迎えて社会奉仕の真髓の

お話を頂きました。

また、第2回社会奉仕セミナーでは、1945年8月15日、終戦から80年が経ち貧富の格差と共に教育の格差が広がり、貧困格差は一番弱い子どもにシワ寄せがいき、今日の日本の子どもは、7人に1人が貧困だと言われており、そこで「埼玉県子ども食堂ネットワーク」代表東海林尚文氏を講師に迎えて子ども食堂の現状のお話を頂き、多い講演でした。

そして、五十幡和彦ガバナーは、全クラスにポリオ根絶イベントの開催を呼びかけ、当委員会としては、11月2～4日開催された日本スリーデーマーチを「ポリオ根絶イベント」と題して地区内全クラスに参加を呼びかけ、34クラス参加者233名の参加を頂きました。誠に有難うございました。



職業奉仕委員会委員長

小高 章（川越）

一年を振り返って

職業奉仕は、ロータリーの原点であるといわれています。職業上の高い倫理基準を守り、専門知識や技能を社会の問題やニーズに役立てることをクラスとクラス会員に

求めています。

2024-25年度 五十幡ガバナーは、地区活動方針に「ロータリーの目的、四つのテスト、公式標語、行動規範、中核的価値観、行動計画(指針)に基づくロータリーの理念と取り組みの再確認」を掲げてスタートしました。このことを踏まえて職業奉仕委員会は、「職業奉仕」に理解を深めていただくとともに、各クラスでの研修、委員会での勉強資料、卓話、入会3年未満の会員の研修の実施のために「職業奉仕ラーニングツール」を作成しました。

ラーニングツールは、「職業奉仕入門」「職業奉仕とは」「ロータリーの職業奉仕知っておきたい四大用語」の全3シリーズを地区HPの職業奉仕委員会に掲載してありますので、引き続き活用いただき、魅力ある、そして活力のあるクラス作りに役立てていただきます。各クラスの皆様には、ご理解とご協力いただきましたこと、深く感謝申し上げます。

1年間ありがとうございました。



国際奉仕委員会 統括委員長

正田康高（深谷東）

国際奉仕委員会活動を通しての一年振り返り

本年度、国際奉仕委員会の統括委員長として一年間の活動を振り返るにあたり、多くの気づきと学びがありましたことを、まずご報告申し上げます。

国際奉仕の使命は、「国境を越えた友情と理解を育み、より良い世界を築くこと」にあります。

今年度は、コロナで途絶えていた関係を再開するにあたり、RI2570地区ロータリークラブとして、グローバル交流委員会を主にRI3502台湾桃園地区との交流事業を中心に、相互理解を深める取り組みを行いました。また、グローバルサポート委員会ではタイ国とのグローバルファンド補助金事業（GG2571304）で現地の病院に超音波乳化吸引装置を送る支援プロジェクトが行われました。

タイ国の多くのロータリークラブ会員・病院関係者の皆さまのご協力により大きな成果をあげることができ、感謝の念に堪えません。

また、国際ロータリーの理念に触れることで、私自身の視野も大きく広がりました。国や文化、宗教、言語の違いを越えた交流は容易ではありませんが、だからこそロータリアンとしての奉仕の精神が大切であることを再認識いたしました。

一年間、至らぬ点も多々あったかと存じますが、委員会の皆さまの温かいご支援とご指導のおかげで、無事に務めを果たすことができました。心より御礼申し上げます。今後も、次年度へとつながる基盤づくりの一助となれば幸いです。

国際奉仕の活動は、今後ますますその重要性を増すと感じております。

引き続き、クラス全体でのご協力を賜えますようお願い申し上げ、結びとさせていただきます。



MESSAGE FROM THE CHAIRPERSON



青少年プログラム委員会 統括委員長

高橋貴子 (行田さくら)

一年を振り返り・・・

青少年プログラム事業にて、青少年の事故やケガ・緊急時対応等もなく1年間無事に年度計画を遂行出来ました事をご報告させていただきます。

インターアクトクラスのメンバーは地域への奉仕や活性化について真摯に取り組んでいます。年次総会・ライラディの開催により他クラスとの活発な意見交換や発表ができました。学生の発言は予想を超えるほど立派で非常に感銘をうけました。

5か国からのインバウンド学生と第54期派遣生10名は全員無事に派遣期間を満了し、それぞれの母国へと帰国いたしました。「帰りたくない!」という学生ばかりでした。この一言が1年の滞在の素晴らしさを物語っていると思います。

第55期交換派遣候補生は10か月のオリエンテーションを終え、大きな希望を胸にインドネシア・イタリア・台湾・ポーランドに出発いたします。

彼らがロータリーをプラットフォームとして大きく成長できたことは間違いありません。この1年の経験は人生を変える1年であったと思います。青少年育成は世界平和への種まきであると思います。

今年度大切に育てた子供たちがいつの日か平和を実現してくれることを切に願います。1年間の青少年奉仕事業、皆様方のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。



地区大会「新世代の集い」



インターアクトクラス「年次総会」



青少年交換「全国大会」



ロータリー財団委員会統轄委員長

茂木 聡 (本庄)

一年を振り返って

日本のロータリー財団の目標のひとつである「年次基金寄付ゼロクラスゼロ達成」が、34地区のなかでいち早く達成できましたことを、各クラスの会長並びにロータリー財団委員長はじめ会員の皆さまに感謝申し上げます。さらに「日本スリーデーマーチ」を地区のポリオデーとし皆さまにお声がけしたところ、ロータリアンとその家族、学生と総勢235名に参加いただき、ポリオ根絶広報活動と共に30万円を超える寄付をいただいたことに、深く感謝申し上げます。

ポール・ハリス・ソサエティ (PHS: 毎年1000ドル以上を財団に寄付する方の認証プログラム) のメンバーに新たに5名が加わり計37名となりました。そしてポリオプラス・ソサエティ (PPS: 毎年100ドル以上をポリオプラス基金に寄付する方の認証プログラム) のメンバーに新たに16名が加わり計20名となりました。さらに、寄付の累計が250,000ドルに達した方はアーチ・クラフ・ソサエティ (AKS) のメンバーとなり認証されます。

当地区として二人目のメンバーに高柳育行パストガバナーがなられ、さらに三人目として五十幡和彦ガバナーがなられました。ロータリー財団に寄付をされた方々に改めて感謝申し上げます。

ロータリー財団は、より良い世界を築こうというビジョンを共有する会員からの自発的な寄付のみによって支えられています。寄付はロータリー財団の補助金となり、助けを必要とする地域社会での活動に役立てられています。

地区補助金を利用されたクラスは、39クラス(地区内約8割のクラス)でした。グローバル補助金を利用した国際的人道奉仕活動は3件、グローバル補助金での奨学金を得て留学中学生は3名です。そして2名のグローバル補助金奨学生を海外に派遣すべくオリエンテーションを行ってまいりました。

当委員会は年に2回のセミナー、奨学生の選考試験、5回のオリエンテーション、補助金の審査及び精査の役割会議と多忙な委員会であります。

地区ロータリー財団委員会で共に活動いただいた役員に厚くお礼申し上げます。

MESSAGE FROM THE CHAIRPERSON



米山記念奨学委員会統轄委員長

一柳達朗（入間）

一年間の米山記念奨学委員会を振り返って

2024-2025年度の米山記念奨学委員会を振り返ってみると、推進委員会委員長だった昨年10月より中嶋清統轄委員長から代理として委員長を引き継ぎ、米山に関する行事を執り行ってきました。

2021-2022年度に地区役員としてご指名頂き米山記念奨学委員会に携わってきましたので、年間行事に関しては何をやるのかは分かっていたのですが、裏方を全く知らない状態でしたので元統轄委員長や関係者にその行事ごとに「何をやらなければならないのか？」「どんな資料を用意しなければならないのか？」「誰に連絡をしなければならないのか？」など色々とお聞きし、アドバイスをもらい、新しく資料を作り、添削してもらい、地区役員の仲間と学友にもご協力頂きどうにかやってきました。

10月は米山月間。奨学生及び同行する地区役員のスケジュール調整に苦労しました。11月は地区大会。奨学生達はロータリアンに声を掛け募金活動を行いました。12月はカウンセラー会議に米山クリスマス会。奨学生達が企画立案し楽しいクリスマス会になりました。1月は次年度米山記念奨学生候補生の面接。初めて面接の場に立ち会いました。

候補生たちは緊張した面持ちで面接に挑みました。3月は終了式。12名の奨学生が巣立って行きました。カウンセラーさん一年間お疲れ様でした。4月は米山オリエンテーション。継続奨学生5名と新たに11名の奨学生が当地区にやってきました。自信初の主催セミナーでしたので緊張しました。5月はロータリーの森清掃。ロータリアンと奨学生達が協力し清掃活動。終わってからは秩父鉄道のSLバレオエクスプレス（蒸気機関車）を見る事が出来ました。6月は学友総会。振り返ると毎月の様に行事が有って大変ですが、とても充実した一年でした。仲間にも恵まれました。感謝しています。

今年度、正式に統轄委員長を拝命しました。年間スケジュールがスムーズに行く様に皆で知恵を出し合い、力を合わせて頑張ろうと思います。これからの一年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。



地区幹事

田島博夫（行田さくら）

一年間ありがとうございました

準備期間から考えると、約2年以上の時間を地区幹事という職務に徹してきたわけですが、大変忙しく有意義な時間を過ごさせていただきました。クラスの幹事を受けたことも、会計を任せられこともないさらの状態での引き受けでしたので、かえって何の先入観もなく与えられた役割に専念できたのだと思います。

年度の予算計画からスタートし、ガバナーや地区事務所との数多くのメールのやり取り、送金の指示、セミナー等の手配・出欠確認、など職務内容は様々でした。見るもの、聞くものすべて初めてであり、最終判断はガバナーですが、会計に関しては私の判断で大方の処理は行い、金融機関への日参がつづきました。振り返ってみますと地区の資金管理のことが解り大変勉強になりました。

まだ、最終の決算は終わっていませんが、各委員長のご協力で役割を全うすることができそうです。

今後、地区会計や幹事の為に少し改革や見直しがされるとより良いと思います。

最後になりますが、今年度は度重なる大災害に過分なるご支援・ご協力をいただきました、各クラス会長をはじめ会員皆様に心より御礼を申し上げます。

また、地区事務所の雰囲気も事務局員の対応もとても素晴らしかったこと心より感謝しております。



カルガリーロータリー国際大会に参加して

国際大会推進委員会 委員長

相原 茂吉 (川越)



6/21

エアーカナダ004便16時40分出発。五十幡G夫妻、細井PG夫妻、坂口GEをはじめ17名の出陣であった。現地で集合するメンバーを加えると今回は44名の参加があった。日本の猛暑に慣れたせいか、トランジットでバンクーバーについたとき気温の低さにはびっくり、慌ててセーターを購入した。

バンクーバーからカルガリーまで機内が寒く、買ってよかったと痛感。他のメンバーの皆さんは実に用意がよくコートやダウンをしっかりと持参していた。

やはり情報はなめてはいけない。

到着後、真っ先に会場に向かいパスポートを提出して国際大会登録。

首から下げる登録カードを受けとる。夕食は量が多くて食べられない「RUTH'S CHRIS」でのステーキ。まずまずのホテル。冷蔵庫に水もなく、室内スリッパもなかった。



6/22

日没は22時なのでカルガリーの6月は夜が短い。気温4度の明るい早朝、ホテルの周りを5時30分から1時間ほど散歩。体調はばっちりである。ほとんど人はおらず、6時45分、ホテルのバイキング朝食はあまり美味しくない(笑)。

その後、バスで国際大会会場BMO CENTERに向かう。ブルーライトで装飾された巨大なコンベンションホールはかなりの大きさと全世界100ヶ国以上からロータリアンが集結するため、午前と午後の部に分かれ、室内はエアコンが効いていて寒い。ステファニー・A・アーチック会長をはじめ多くの重鎮が次々に登場するが誰が誰だか分からない。みんなカルガリーの合言葉「YA, HOO!」と歓声を上げていた。

いよいよ恒例の各国の国旗入場。会場が盛り上がったのは地元の「カナダ」と「ウクライナ」と「台湾」で、特に台湾の紹介の時には「ウォー!」と会場が割れんばかりの雄たけび。ロータリーに対する台湾の思い入れに強烈なパワーを感じ次回の台北の国際大会に期待が高まる。

「友愛の広場」では相当数のブースが出ていた。革製品を中心としたアフリカ勢の出品が多く、バッグ類やシャツ類、バッグ類はいつもの通りすごい数である。

広い食堂のスペースだがその割には食品店が少ない。様々な人種でかなりごった返していた。フィリピンから来た公務員の女性達と相席で坂口GEがジョークを言って大うけしていた。

夜は富士見RCをはじめ事前に入国していたメンバー達が全員集合し44名のすばらしいガバナーズナイトであった。司会は行田さくらの丑久保会員と、懇親会では田島会員であった。スピーチをする皆さんは本当に話が上手すぎる。おかたいスピーチではなく関係のない話が多くて会場は笑いの渦であった。やはりロータリーはこうであってほしい。最後はカーボーイハットとカナダ模様のサングラスで登場した原島GN. YA. HOO! でばっちり締まった。

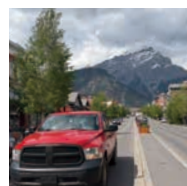


6/23

憧れのバンフ観光。

45年ぶりに訪れたレイクルイーズの壮大な美しさは昔と全く変わらない。唐の詩人劉希夷の「年年歳歳花相似歳歳年年人不同」を思い出す。45年前に自分が来た時は自分が若者であったが、今は周囲はみな眩しい若者でいっぱいであった。サルファーマウンテンの頂上にすごいスピードで向かうゴンドラには足がすくむ。頂上のレストランでランチ。雄大なカナディアンマウンテンを一望できるここは、多くの観光客でいっぱい。バンフならではの賜物である。

その後バンフの街を観光・ショッピングしながら、夜はTeatrao でイタリアンのディナー。サーモンとミートソースであった。



6/24

バンクーバー市内観光。蒸気時計やエリザベス公園などを探索しスーパーマーケットにも寄る。

因みにビッグマックは670円。豆腐は日本の倍の大きさに500円。牛乳1リットル650円。チーズの売り場が相当の面積をとっており相当な種類のチーズが並んでいた。

現地のガイドさんの話によると卵はワンパック1,000円、住居は一户建てで2億、マンション1億、殆どの世帯が共稼ぎで年収約800万くらいなので家を買うのにどうするのだろうか?と言っていた。

ホテルはPinnacle Hotel。各部屋にスリッパは無し。水ボトルはあり、よいホテルであった。何処のホテルにもウォシュレットはなかった。



6/25

バンクーバー航空より一路成田へ。

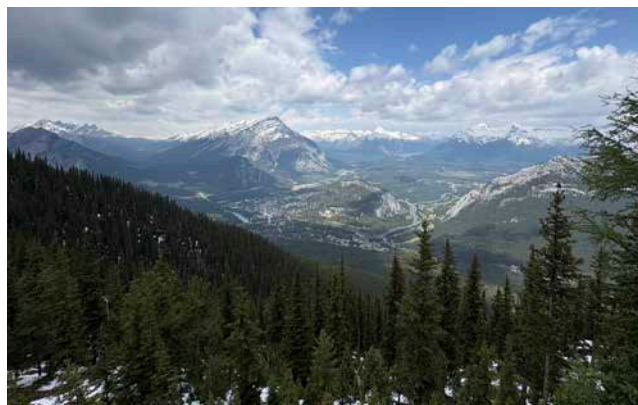
約10時間。

今回のカルガリー国際大会は円安と飛行機料金の高騰が相まって高額なツアーになってしまい、参加者人数が非常に懸念されたが、それでも44名のメンバーが参加してくれて、委員長として非常に嬉しかった。

これも五十幡ガバナーの功績・人徳に帰することが大であると思う。正味5日間の旅行であるが、参加者同士、和気あいあいと非常にストレスのない実に楽しい旅であった。個人旅行では味わえないような、改めてロータリーならではの魅力を感じる事ができた旅行であった。

また、今回、JTBの戸口さん並びにリノンの新井さんには微に入り細に入り本当に綿密なアテンドをしていただき、全く不安のない快適な旅行であった事を心から感謝したい。

来年は台北である。かなりの参加者が期待されるが、できればまた、同じメンバーで行きたいものである。





40周年記念式典

所沢西ロータリークラブ

会長 金岡 悟



2025年5月25日（日）

所沢西ロータリークラブ創立40周年記念式典・祝賀会が5月25日に開かれました。

当クラブは、所沢ロータリークラブを親クラブとして、1985年に創立されました。それ以来、地域社会への貢献と、会員同士の親睦を深める活動を継続してまいりました。

記念式典では、第2570地区の五十幡和彦ガバナー、スポンサークラブの鳥居由美子会長、姉妹クラブの台湾 吉安ロータリークラブ李文賢会長より御祝辞を頂き、田島博夫地区幹事、倉片順司ガバナー補佐をはじめ第2570地区第3グループの会長・幹事の皆様、会員の皆様に参加して頂きました。

チャーターメンバーの表彰、スポンサークラブおよび事務局員への感謝状贈呈を行った後、衆議院議員 片山さつき様における基調講演をしていただきました。

第2部の祝賀会では、合田真貴子様たちによる「琴と尺八、絃の調べ」の記念演奏をしていただき、最後まで皆様にお付き合いいただき閉会となりました。

お越しいただいた皆様方により盛大に開催されましたこと深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



30周年記念式典

東松山むさしロータリークラブ

会長 鯨井美知子



2025年5月31日（土）

東松山むさしロータリークラブでは、創立30周年記念式典を行いました。記念事業の一環として東松山市の庁舎前に「風に向かって一緒に歩こう」をテーマにした二体の銅像と台座を寄贈いたしました。

式典はガーデンホテル紫雲閣で総勢100名の方々のご出席を頂き盛大に開催することができました。むさしロータリークラブは1995年に40名のチャーターメンバーで東松山ロータリークラブから発足しました。

ご来賓の皆様から多くのご祝辞を頂戴し、国際ロータリーのステファニーAアーチック会長からもお祝いのメッセージが寄せられました。厳粛な式典終了後、埼玉県親善大使である「吉武まつ子ファミリー」による記念コンサートが行われ、懇親を兼ねた祝賀パーティーで式典の最後を締めくくる事ができました。

この創立30周年記念式典を迎えるにあたり多くの方々にご指導とご協力を賜りました事に、会員と共に深く感謝申し上げます。





50周年記念式典

新座ロータリークラブ

会長 松岡昌宏

2025年6月14日(土)

例会会場でもあるベルセゾンにおいて、新座ロータリークラブ創立50周年記念事業の式典・祝賀会に、第2570地区五十幡ガバナー、島田ガバナー補佐、坂本パストガバナー、第2グループの会長幹事、子クラブの新座こぶしロータリークラブの皆様にご参加いただきました。そして並木新座市長、市議会議長をはじめ国会議員の皆様など多くのご来賓にご臨席を賜り、さらには、友好クラブの西那須野ロータリークラブの皆様もお迎えして盛大に開催いたしました。

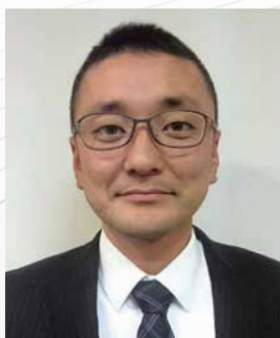
当クラブは、昭和50年6月17日、朝霞ロータリークラブを親クラブとして32名で創立し、50年の節目を迎えることができました。

式典ではオープニングビデオ・スライドとして「創立50年の歩み」を上映し、新座クラブが各種団体と協力し地域と歩んできた歴史や奉仕活動の数々を紹介いたしました。

創立50周年記念事業としては、「ロータリー財団・米山記念奨学会」にそれぞれ寄付を、新座市には志木駅南口広場中央に「時計塔」の寄贈を行いました。「時計塔」には『にいざ快適未来都市』の標語看板も設置しました。これから長く時を刻みながら、次の60周年、70周年、さらには100周年に向けて一致団結し奉仕活動を続けてまいる所存です。最後に、式典にご臨席いただきました皆様に感謝申し上げます。



ROTARY FOUNDATION



地区副幹事 山岸泰輔(行田さくら)
ロータリー財団 奨学候補生
第5回オリエンテーション開催

2025年6月14日(土)
坂戸市文化会館オルモ

2025-26年度候補生の穴戸真生さん、中村悦子さんによる今後の抱負を含めた最後のプレゼンテーションが行われ、当日参加された手塚さん、横田さん、坂入さん、柳田さんの4名の学友から、今後の活動に向けてのアドバイスと激励を頂きました。

その後の歓送迎会では2026-27年度はロータリー財団候補生である新島里奈さん、尾木哲人さんの紹介がされ、ロータリー財団委員会メンバー一同アットホームな雰囲気の中で交流が深められました。最後に高丹直前ガバナーによる熱い応援エールが送られ、希望と使命感に燃える奨学生の瞳が、より一層輝きを増したところで閉会となりました。この一年、全5回のオリエンテーション、各ク

ラスでの卓話、地区大会をはじめとする事業の中でのプレゼンテーションと、本当に多くの機会の中で大きく成長をされた2名の奨学生に、改めて感謝と敬意を込めてこの言葉を送らせていただきます。本当にありがとうございました。



2024-25年度 地区会計収支報告書

■地区会計収支報告書

2024年7月1日～2025年6月30日

単位：円

勘定科目	予算	決算	増減	備考
I 収入の部				
①地区賦課金（上期）	21,496,500	21,594,850	98,350	14,050円×上期首会員数(1537)
②地区賦課金（下期）	21,496,500	21,988,250	491,750	14,050円×下期首会員数(1565)
③雑収入	0	12,357	12,357	労働保険料還付：¥11,004、利息：¥1,353
④前期繰越金	0	5,214,801	5,214,801	
収入総計	42,993,000	48,810,258	5,817,258	
II 支出の部				
1. 外部分担金				
①ロータリー連絡費	306,000	310,200	4,200	ロータリー連絡費：¥310,200
②ロータリー文庫運営費	306,000	310,200	4,200	ロータリー文庫運営費：¥310,200
③RIJYEM維持協力費	306,000	310,200	4,200	維持協力費：¥310,200
④平和奨学生支援金	22,950	23,475	525	平和奨学生支援金：¥23,055
小計	940,950	954,075	13,125	
2. 地区管理運営費				
①地区大会運営費	11,016,000	11,066,400	50,400	
②地区研修・協議会運営費	1,530,000	1,565,000	35,000	
③エレクト活動費	1,500,000	1,500,000	0	
④地区事務所運営費	7,650,000	7,570,631	△ 79,369	
⑤ガバナー月信発行費	2,800,000	3,245,420	445,420	
⑥会議費及び資料費	2,400,000	2,860,509	460,509	
⑦通信費	1,000,000	795,144	△ 204,856	
⑧雑費	150,000	28,981	△ 121,019	
⑨予備費	151,900	0	△ 151,900	
小計	28,197,900	28,632,085	434,185	
3. 委員会別活動費				
①地区ラーニング委員会	100,000	0	△ 100,000	
②地区ラーニング委員会RLI担当	400,000	378,591	△ 21,409	
③地区戦略計画委員会	100,000	40,000	△ 60,000	
④地区記念誌委員会	100,000	0	△ 100,000	
⑤国際大会推進委員会	200,000	223,000	23,000	
⑥DEI委員会	350,000	74,385	△ 275,615	
⑦ロータリーアクトクラブ委員会	250,000	157,006	△ 92,994	
⑧会員増強委員会	350,000	296,085	△ 53,915	
⑨公共イメージ委員会	300,000	137,060	△ 162,940	
⑩職業奉仕委員会	300,000	0	△ 300,000	
⑪社会奉仕委員会	600,000	599,098	△ 902	
⑫国際奉仕委員会	680,000	676,442	△ 3,558	
⑬青少年プロジェクト委員会	4,483,200	4,483,200	0	
⑭ロータリー財団委員会	900,000	891,818	△ 8,182	
⑮ロータリー米山記念奨学委員会	450,000	0	△ 450,000	
小計	9,563,200	7,956,685	△ 1,606,515	
4. 地区活動費				
①人道的支援広報費	400,000	375,000	△ 25,000	
②地域活性化広報費	200,000	200,000	0	
③危機管理委員会	100,000	18,000	△ 82,000	
④RI会長テーマ推進費	500,000	600,000	100,000	
⑤規定審議会繰入費	200,000	200,000	200,000	
⑥ロータリー希望の風奨学金	1,000,000	1,000,000	0	
⑦地区記念誌繰入金	200,000	200,000	0	
⑧合同役員会議費	1,000,000	602,709	△ 397,291	
⑨姉妹地区交流費	200,000	158,708	△ 41,292	
⑩雑費	200,000	209,000	9,000	
⑪予備費	290,950	0	△ 290,950	
小計	4,290,950	3,563,417	△ 527,533	
支出総計	42,993,000	41,106,262	△ 1,886,738	
III. 本年度収支差額				
危機管理委員会基金特別会計繰入金	0	2,000,000	2,000,000	
次期繰越金	0	5,703,996	5,703,996	
能登半島豪雨災害支援金	0	548,880	548,880	危機管理委員会より出金、各クラブより¥1,451,120
大船渡大規模森林火災支援金	0	451,599	451,599	危機管理委員会より出金、各クラブより¥1,548,401
ミャンマー地震災害救援金	0	471,570	471,570	危機管理委員会より出金、各クラブより¥1,028,430

■特別会計収支報告書

RI2570国際奉仕地区支援委員会特別会計

項	入	出	備 考
前期繰越金	3,050,120		
雑収入	3,572		利息
次期繰越金		3,053,692	
合計	3,053,692	3,053,692	

※繰越金は埼玉りそな銀行東松山支店（普通預金No.5230614）

RI2570地区義援金特別会計

項	入	出	備 考
前期繰越金	13,983,961		
雑収入	16,377		利息
次期繰越金		14,000,338	
合計	14,000,338	14,000,338	

※繰越金は埼玉りそな銀行東松山支店（普通預金No.5248566）

RI2570危機管理委員会基金特別会計

項	入	出	備 考
前期繰越金	24,556,089		
本会計より	2,000,000		
支援金に支出		1,472,049	熊谷豪雨・大粒連火災・ミャンマー地震
雑収入	28,773		利息
次期繰越金		25,112,813	
合計	26,584,862	26,584,862	

※繰越金は埼玉りそな銀行東松山支店（普通預金No.5283688）

RI2570 60周年記念誌発行基金特別会計

項	入	出	備 考
前期繰越金	1,200,086		
本会計より	200,000		
雑収入	1,421		利息
次期繰越金		1,401,507	
合計	1,401,507	1,401,507	

※繰越金は埼玉りそな銀行東松山支店（普通預金No.5377134）

□会計報告

国際ロータリー第2570地区、2024～25年度会計報告を資料の通り報告いたします。

2025年9月8日

地区財務委員長

忽滑谷 明



地区財務委員

田島 高久



地区幹事

田島 博夫



□監査報告

私は国際ロータリー細則第15条6節4項に基づき、国際ロータリー第2570地区2024～25年度の監査を行いました。 その結果、適正なものと認めます。

2025年9月8日

地区財務委員会監査

前嶋 修身



2024年7月1日～2025年6月30日

単位：円

RI2570規定審議会対応費特別会計

項	入	出	備 考
前期繰越金	1,281,094		
本会計に支出		400,880	振り手 ¥ 880 込
雑収入	1,500		利息
次期繰越金		881,714	
合計	1,282,594	1,282,594	

※繰越金は埼玉りそな銀行東松山支店（普通預金No.5318773）

RI2570 VTT・GSE特別会計

項	入	出	備 考
前期繰越金	3,251,533		
雑収入	3,808		利息
次期繰越金		3,255,341	
合計	3,255,341	3,255,341	

※繰越金は埼玉りそな銀行東松山支店（普通預金No.5283662）

RI2570青少年活動費特別会計

項	入	出	備 考
前期繰越金	1,042,970		
雑収入	1,221		利息
次期繰越金		1,044,191	
合計	1,044,191	1,044,191	

※繰越金は埼玉りそな銀行東松山支店（普通預金No.5383670）

編 集 後 記

一年間にわたり、ガバナー月信の編集から発行まで、ご協力いただき、心より感謝申し上げます。特に、余裕がない締め切での執筆依頼や写真提供のお願いを快諾してくださった他クラブの皆様には、時間と労力を惜しまずご協力いただき、本当にありがとうございました。皆様のご支援があってこそ、特別号も無事にお届けできたことを大変嬉しく思っています。

また、各クラブの活動や取り組みを共有してくださったことが、ロータリーの一員としての誇りを感じさせ、私たちにとっても大きな励みとなりました。

これからも、ロータリークラブの仲間として、共に歩み、支え合いながら地域社会に貢献していけることを楽しみにしています。本当に一年間ありがとうございました。



行田市で毎年行われている「田んぼアート」

ガバナー月信委員会



委員長 川野 健人
行田さくら



副委員長 松岡 由浩
行田さくら



飯塚 秀司
行田さくら



神田日出雄
行田さくら



梁瀬里司
行田さくら



渡辺 昭孝
行田さくら

ガバナー月信 特別号

2024-2025年度 vol.13

月信についてのお問合せ

ガバナー月信編集委員会 委員長 川野健人
kawano.kento@drive.ocn.ne.jp

国際ロータリー第2570地区 地区事務所

〒355-0028 埼玉県東松山市箭弓町2-5-14 ガーデンホテル紫雲閣内
TEL.0493-21-2570 FAX.0493-21-2571
E-mail d-office@mail.rid2570.gr.jp <https://www.rid2570.gr.jp/>